

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	緊急援助隊派遣中における急性腰痛症について
3. 体験した事例の中心的要素	震災活動に伴う疲労。 概要: 活動3日目の朝に起床後、洗面と食事を済ませ出発前の準備をしていた。ストーブの前に座り、若干前かがみになったところ腰部に痛みを感じた。直ちにストレッチ等を行い痛みが一時的なものと判断されたため、午前中の活動に従事した。 昼食後までに徐々に痛みが増してきたため、昼食後一時的に横になり休息した。午後の活動のため起きようとしたところ、腰部激痛により起床困難となった。医師の入院時の見解として「震災当日から3月25日までの休養日が3月20日のみであったこと等が影響しているのではないかと推察された。」
4. 体験した事例の原因・理由	震災活動に伴う疲労 連続して勤務し、疲労が蓄積したものと思われる。 発症から活動不能になる経過も、徐々に痛みが増長している。

### 【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成23年3月25日 午後
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋内、屋外: 屋内で痛みを感じ始めて、活動中を含めて徐々に痛みが増してきたため不詳
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	腰痛
7. 事例体験時の活動	風水害等の災害出動準備
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他: 活動中ではない
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[45]歳、勤続年数[18]年、現場経験年数[16]年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:航空機操縦]
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	洗面・食事後胡坐で座っていた	
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

その他 : 怪我ではない。病気扱いです。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭い場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

自覚症状のない疲れ
-----------

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

なし

○装備・資機材の対策について

なし

○活動環境の対策について

なし

○指揮・情報伝達の対策について

なし

## 急性腰痛症の状況図

	<p>降機姿勢</p>
	<p>降機後に腰部違和感を自覚</p>